

研究・研修報告書

令和8年 3月 30日

小牧市議会議長 舟橋 秀和 様

会派名 無会派
代表者氏名 黒木 明



研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

黒木 明

2 日程

令和8年 3月 29日 (日)

3 研究・研修名

『議会改革』 条例 「地元コミュニケーション論」

4 主催者

救国シンクタンク 自治体経営研究会

5 会場

TKP 秋葉原カンファレンスセンター 3A

6 受講の目的

議会改革に関して、議会基本条例や他自治体先進事例を学び、議会機能の強化と市民に開かれた議会運営に活かすことを目的としました。

また、地元とのコミュニケーションを通じて、市民との対話や意見収集の手法を学び、市政への政策提案に活かすことを目的としました。

7 主な内容

『議会改革』 条例』では、地方議会における議会改革の必要性や、議会基本条例の役割、他自治体における議会改革の取組事例について講義が行われ、議会活動の透明性確保など、議会の役割について理解を深めました。

「地元コミュニケーション論」では、地域住民との信頼関係を構築するための対話のあり方、意見収集の方法、情報発信の重要性などについて学び、議員として地域の声をどのように政策へ反映させるかについて理解を深めました。

8 所感・提言・課題等

今回の研修では、議会改革に関する議会基本条例の基本知識や他自治体の取組事例、また、地元でのコミュニケーションの重要性について学び、地方議会が果たすべき役割について理解を深めることができました。

議会が政策形成機能を十分に発揮するためには、議会改革の推進、時代に合った議会基本条例の改訂に加え、市民との対話を通じて地域課題や多様な意見・要望を把握し、それらを政策提案や議会活動へ反映させていくことが重要であることを改めて認識しました。

しかし、市民の意見や要望をすべて受け入れることは財政的に現実的に厳しいために、市民に対しても市政を理解して頂くために、地域住民と深いコミュニケーションをとる事の必要性も感じました。

また、議会活動や行政の情報を市民に分かりやすく伝えることは、議会の透明性を高め、市民に開かれた議会運営も重要であると感じました。

今後は、地域住民との意見交換や対話の機会を大切にしながら、地域の課題や要望の把握に努めるとともに、研修で得た知見を踏まえ、議会活動や市政に関する情報発信にも取り組み、市民の声を市政に反映させる議員活動に活かしていきたいです。